

国指定特別天然記念物
やけはしりょうがんりゅう

溶岩流は、暗褐色・多孔質な塊状溶岩で拳大から直径が 1m を超えるような溶岩が堆積して形成されています。厚さは 5~10m で「虎形」

と呼ばれる波紋状の溶岩しわが見られます。また、世界的にも珍しい、溶岩が雪ダルマ状に転がり球状に固まった「溶岩球」が溶岩流内に多数確認されています。

焼走り登山道からの溶岩流と麓の眺望



かつて宮澤賢治はここを訪れ、溶岩流の激しい鬼気を、詩「溶岩流」の中で「鬼の棲みか」と表現しました。今なお残る荒涼とした景観と、美しい岩手山とのコントラスト。原自然が織り成す自然観察路を歩いてみましょう。

噴火から286年以上経った今でも焼走り熔岩流の植物は蘇苔類(コケ植物)のシモフゴケやハイイロキゴケといった地衣類(菌類と藻類の共生関係による植物群)が多くを占めます。コケ～イタドリ～松と、植生回復の変遷をたどるように、各植物が島状に群生し、周辺のミズナラの林へと続いています。

焼走り熔岩流は植生の回復が特に遅いといわれ、いまだ変遷途上の様子を観察することができず。

溶岩流上の過酷な環境でも、カエルやクモ・トンボなどの虫たちが岩の窪みの水をまりやわずかな草などを助けとして生息しています。付近に生息する野鳥はそうした虫類などを食べ、糞などで木の実を運び植物の勢力拡大に貢献するなど、環境に適応した生態系を作りだしています。

国内でも有数の溶岩球が多く見られる地帯。ハワイの「キラウエア火山」も溶岩球が確認されている。

冬には、ふもとからでも噴出口を目で確認することができる。

深さ 1m~60cm 程度の溶岩しねがあり溶岩の流れが観察できる。

江間章子
昭和を代表する唱歌
の作詞家、詩人。
代表作は「夏の思
い出」、「花の街」など。
地元西根町(現・八幡
平市)名誉町民第1号。

宮澤賢治
花巻市出身、詩人、童話作歌。
郷土岩手をモチーフにした作品で知られ、代表作に「注文の多い料理店」「雨ニモマケズ」など。

■岩手山 十和田・八幡平国立公園
 ●標高 2,038m ●コニエデ型火山(成層火山)
 ●那須火山帯に属する活火山
 ■焼走り熔岩流
 特別天然記念物指定(昭和27年3月9日)
 ●1732年の岩手山火山噴火で、海拔 1,100～
 1,200m 付近の 4 つの噴出口から流れた
 溶岩の累積する溶岩原。
 ●全長: 約4km 幅: 約1.5km

焼走り自然観察路 約1,000m (約45分)

焼走りコース 焼走り登山口→2時間→第2噴出口→10分→第1噴出口→1時間
(登り4時間50分 下り3時間35分)

上坊コース 上坊登山口→2時間30分→ツルハシ (焼走りコースに合流)
(登り4時間10分 下り3時間5分)